



通信 Aug.



みなとみらい花火大会

厳しい暑さの上にコロナ禍が続いています。塾では換気をし学習し易いよう涼しくしています。調節できる服装で来てください。また長時間の人は、飲み物もお忘れなく。 個別港学舎 舎長 八木貴子

レンゲショウマ

学習状況のお知らせ

受験生は夏休み中に志望校の説明会などで情報を集めておきましょう。また自分のやるべき事を着実にこなし、地道な努力も怠ることなく夏休みを充実させてください。

塾のお盆休みはありませんが、「密」を避けるため授業時間の変更をお願いすることもあります。日時を確認してお越しください。また自習も予約が必要です。



文化遺産—9—大日堂舞楽

一月二日、午前八時前、境内に太鼓と笛の音が近づいてくる。まず小豆沢、大里の能衆(舞楽を努める人)たちが境内に姿を現す。五本骨扇に日の丸の紋を染め抜いた藍(あい)染め舞楽装束に身を固め、脚絆(きゃはん)を着けてわらぐつをはいている。間もなく長峰、谷内の能衆たちも笛と太鼓に合わせてやってくる。四つの集落がそろったところで、神主のお払いを受け地蔵舞を舞い始める。舞楽の前奏曲である。



能衆は大日堂の拝殿(お堂)前に整列し、花舞を舞う。右手の鈴を振り鳴らして踊る神子(みこ)舞、「地の神」を礼拝する神名手(かなて)舞を演じる能衆たちの吐く息が白い。拝殿の中では小豆沢の青年数十人による舂(もみ)押しが始まった。これは脱穀の様を



表した動きとされる。はちまき姿の若衆が「エンヤラヤーソーランサーエ」と勇ましい掛け声をかけながら堂内を踊り跳ねて回る。

このころになると、境内は多くの見物者で埋まる。本舞にむけての緊張

感が高まっていく。花舞を終えた能衆たちは各集落の「龍神幡(はた)」と呼ばれる幟(のぼり)を先頭に、拝殿の縁側を三回回る。そして歓声とともに勢いよく堂内に駆け込み、舂押しを終えて二階で待ち構えている若衆に走りながら幡を放り投げる。観衆に人気の高い「旗揚げ」儀式だ。旗を放るタイミングが少しでも狂うと、若衆が的確に受け取れない。幡が見事に神社に奉納されると、観衆から大きな拍手が起こる。この「幡揚げ」が一つのクライマックスになっている。

いよいよ拝殿での舞楽に移る。年末からこの日のために精進潔斎をしてきた舞人と囃し手たちが舞を奉納する。能衆十九人全員による神子舞、神名手舞が奉納されると本舞に入る。本舞は7種類ある。舞は集落ごとに分担されており、ほかの集落の人間が舞うことは許されない。舞人の大部分は大人で、世襲であることが多い。しかし、鳥舞(大里)は小学生三人によって踊られる。化粧をしてかわいい動作で舞う姿には観衆の暖かいまなざしが注がれる。

これは『大日堂舞楽』、秋田県鹿角市八幡平地域に1300年前より伝わる重要無形民俗文化財です。(美の国秋田・桃源郷をゆく)



八木家の食卓

オクラ

夏バテ防止にも良いとされるオクラは、さまざまな料理に使いやすい食材です。ねばねば成分のペクチンは整腸作用があり、便秘や下痢を予防します。ビタミンB1も含まれ、夏バテ、疲労回復に効果があります。



「豚肉の冷しゃぶ」

暑い日には電子レンジを活用しましょう。肉をしゃぶしゃぶする時だけ火を使うメニューです。

豚肉しゃぶしゃぶ用:400g、昆布だし:1ℓ、ナス:6本、オクラ:8本、塩:適量、白だし:100ml、氷:カップ3、プチトマト:8個、キュウリ:2本 4人分

①くつつつ沸いた昆布出汁に豚肉を1枚ずつ広げて入れ、色が変わったら皿に取り出す。全部茹でたらラップをして冷蔵庫で冷やしておく。②ナスはヘタを取り、ピーラーで縦に半分くらいの皮をむき、縦に1/4にする。ラップで包み電子レンジで5分、上下を返し5分加熱する。③白出汁に氷を加え、加熱したナスを入れ、混ぜる。④オクラはヘタの先端を切り落とし、がくの部分を1周むく。塩を振り、軽くこすり合わせて、産毛を取り除く。爪楊枝で数か所に穴をあけ、皿に並べラップをかける。電子レンジで80秒加熱して、白出汁に漬ける。⑤皿に豚肉、ナス、オクラを並べ、キュウリ、プチトマトを飾る。

7月31日八木家メニュー

